

図書館 たより

中央図書館 ☎053-576-4351 FAX053-576-1100 ウェブサイト
 新居図書館 ☎053-594-3155 FAX053-594-3604 https://www.lib.kosai.shizuoka.jp/

1月 開館時間 9:30~18:30 ●中央図書館休館日 1~4、10、16、23、30日 ▲新居図書館休館日 1~4、10、17、24、31日

日	月	火	水	木	金	土
1▲	2▲	3▲	4▲	5	6	7
8	9	10▲	11	12	13	14
15	16	17▲	18	19	20	21
22	23	24▲	25	26	27	28
29	30	31▲				

- ブックスタート
18ページの「子育てけんこう掲示板」をご覧ください。
- おはなし会(10:30~11:00)
ちいさい子向け(3歳ぐらゐまで)
中央図書館19日、新居図書館12日・26日 ※全て木曜日
幼児、小学生向け
中央図書館14日・21日・28日、新居図書館21日 ※全て土曜日

お知らせ ★図書館新春イベントに行こう!

- ※詳しい内容は、館内掲示・ウェブサイトなどをご覧ください。
- ★本の福袋(貸し出し)、リサイクル本の配布
中央・新居図書館 1月5日(木) ※なくなり次第終了
- ★おみくじ 新居図書館 1月5日(木)~15日(日)
- ★人形劇 中央図書館 1月7日(土)
※要申し込み、12月17日から専用フォームで受け付け
- ★高校生による新春書道展 中央図書館 1月7日(土)~22日(日)
- ★工作教室「とびだすウサギを作ろう!!」
新居図書館 1月8日(日) ※参加費・申し込み不要

おすすめ本の紹介

※ウェブサイトでの予約可能



「世界の望む静謐」倉知淳
 東京創元社
 大人気漫画家を殺してしまった担当編集者、悪徳芸能プロモーターを手にかけた歌謡界の“元”スター…。罪を犯した者たちの前に、死神めいた風貌の警部が立ちはだかる。『紙魚の手帖』他掲載を単行本化。
 (TRC TOOLI)

- ▶文学 「ゴッホの犬と耳とひまわり」長野 まゆみ
「ギフトッド」藤野 恵美
- ▶趣味・実用書 「余った糸で何をつくる?」
「地熱エネルギーの疑問50」日本地熱学会
- ▶絵本 「くまの子ウーフのたからもの」神沢 利子
- ▶児童文学 「雨の日は好きな人」佐藤 まどか

図書館 Q&A

みなさん知っていますか?

Q 祝日は開館しますか?

A 中央・新居図書館は開館します。
 祝日が休館日(中央:月曜日、新居:火曜日)にあたる場合は、その翌日に振替休館します。

毎月1日は「こさい健康の日」

問合せ先 健康増進課
 ☎053-576-1114 FAX053-576-1150

備えはできた? W(ダブル)流行



季節性インフルエンザの流行時期になりました。国からは、新型コロナウイルス感染症との同時流行の可能性が示され、静岡県内では、1日に合計25,000人の感染が想定されています。休日や年末年始を安心して過ごせるよう、普段から準備しておきましょう。

▶予防

- 流行前のワクチン接種
- 外出後の手洗いなど
- 感染の可能性が高まる場所への外出を控える
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 室内の湿度管理
50~60%の適切な湿度を保ちましょう。
- 室内の換気
換気扇の常時運転で、室温変化を抑えた換気ができます。



▶備え

- 解熱剤などの家庭常備薬
あらかじめ薬局で購入し、準備しましょう。
- 食料の備蓄
発熱時にも対応できる食材を含め、1週間程度備蓄をしましょう。ローリングストックがおすすめです。
- 検査キット
発症時に新型コロナの自己検査ができるように医療用抗原検査キットを購入しておきましょう。



▶医療のひっ迫を避けるために

- 自己検査で陽性となった中学生以上64歳以下の人は、医療機関を受診することなく療養できる制度があります。詳しくは「静岡県 自己検査」で検索してください。

▶その他気を付けること

- かかりつけ医の休診時に受診できる病院を調べておく
- 職場や学校、通園先などの感染症流行状況を確認しておく

持続可能な地域医療へ湖西病院の連携協定。 畜産臭気対策へ、モノづくり企業の技術を活用!



人口減少やコロナ禍、限られた財源などにより、地域課題の解決には、行政だけでは手の届かないところも現実にあります。そこで、地域課題の解決に前向きな企業等との「官民共創」による取り組みを推進しています。

例えば、11月24日、地元企業の浜名湖電装株式会社とキャノンマーケティングジャパン株式会社で「畜産臭気対策に関する連携協定」を締結しました。モノづくり企業の技術を活用した脱臭装置や自動噴霧センサーにより、臭気低減による定住促進と「湖西パーク」など産業振興の両立を図ります。他にも、オープンデータを活用した市民サービスの向上に向け、ソーシャルXによる逆プロポなどの手法により、官民共創を進めているところです。

また11月25日に、浜松市との間で、浜松医療センターと市立湖西病院における「持続可能な地域医療提供のための連携協定」を締結しました。これにより



湖西病院への医師派遣、看護師の育成、助産師の派遣による産科・健診の充実、高度急性期医療と回復期リハビリ患者受け入れなどの機能分化・役割分担を行い、さらに安心・安全で質の高い地域医療を、市民の皆さまへお届けしていきます。

「臭気対策」「地域医療」どちらも、長年の地域課題の解決に向けた大きな前進と言え、「職住近接」の推進に向けて、着実に進めていきます。

おいでん祭でデザインを発表した、市PRキャラクターの名前に3,366通もの応募をいただき、中高生の人気投票や、作者の稲 空穂さんと若手職員PTにより「うなぼん」と決定しました。着ぐるみも完成し、KOKOまつりでお披露目。子どもたちから「かわいい」と人気で、Twitterのフォロワーも伸びています。コーちゃんと共に、湖西市の魅力発信に、活躍を期待しています!

湖西市長 影山 剛士

■休日救急当直医(9:00~17:00)

1日	牛田クリニック (内/外/消/小/皮) ☎ 053-574-2252	9日	みなとクリニック (内/循) ☎ 053-595-0780
2日	大久保小児科内科クリニック (小/アレ/内) ☎ 053-594-7311	15日	あらい青葉クリニック (小/内) ☎ 053-594-0044
3日	きもと小児科 (小) ☎ 053-576-1938	22日	西湖西整形外科 (皮/リハ) ☎ 053-574-3741
8日	伊藤医院 (内/小) ☎ 053-578-0658	29日	大久保小児科内科クリニック (小/アレ/内) ☎ 053-594-7311

日曜日・祝日・年末年始の 発熱専門外来開設

休日救急当直医以外に、令和4年12月から令和5年2月まで休日の発熱専門外来を開設しています。発熱専門外来の開設状況は、市ウェブサイト(右の二次元コード)に最新情報を掲載しています。**発熱などの症状がある場合は、事前に電話連絡してから発熱専門外来を受診しましょう。**



■市のようす

※外国人を含む

令和4年11月末現在の人口など	前年同月未数	令和4年11月の異動者数
■人口 58,498人	58,645人	■転入 217人
■男 30,057人	30,031人	■転出 202人
■女 28,441人	28,614人	■出生 25人
■世帯数 24,887世帯	24,503世帯	■死亡 72人

同報無線 自動放送

市内に気象情報が発表された場合や、震度4以上の地震が計測された場合などに、自動に同報無線が放送されます。

同報無線テレホンサービス

☎0120-331-282 <https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>
「同報無線が聞こえなかった」というときは、同報無線テレホンサービスや市ウェブサイトで、同報無線の内容を確認することができます。

編集後記

最後まで
お読みいただいた
皆さんへ

特集の取材を通して、世の中のために新しいものを生み出せるモノづくりの魅力と、それを楽しそうに語るモノづくり現場の皆さんに触れました。心に浮かぶのは、母を楽にしたいくて発明に打ち込んだ佐吉翁。ひ孫の章男社長は、顕彰祭で「仕事を楽しめば、改善が進み、仕事が楽になり、もっと楽しくなる」と語りました。次世代の子どもたちが、モノづくりを楽しみながら後にしてくれることを期待して、「こさいモノづくりキッズ!(裏表紙)」を今月から掲載しています。(M.Y)

自分が広報担当になってから、今回初めて表紙に大人数での集合写真を採用しました。今まさに自分の手で完成させたモノを掲げて嬉しそうなお子どもたち♪(Sa)